

理想の鼠径部ヘルニア治療戦略 - ラパロとリヒテンシュタイン法の共存 -

大阪の会場より、Zoomを通して講義・ハンズオンをLIVE配信いたします。

■ 配信日時

2020年

10月29日(木)

16:30 ~ 18:00

■ 募集定員

最大6組 (2名1組でお申し込みください)

※受講は事前予約制、Zoomにて講師からご指導をいただけます。当日は弊社担当がハンズオン機材を準備させていただきます。尚、お申込みは先着順とさせていただきます。

■ 申込方法

学会総会のWEB開催画面からお申込ください。

<https://www.c-linkage.co.jp/jsa82/web/>

※ログインには、学会総会への参加登録が必要です。

※LIVE配信のご視聴は、事前ご予約不要です。

■ 開催概要

2018年、日本ヘルニア学会も傘下に収めるThe Hernia Surge Groupから発行されたInternational guidelines (以下IG)にて推奨されている術式はラパロ(TAPP法)とリヒテンシュタイン法。

今回は、三人のエキスパートDr.による講義とSelf-Fixating Meshを使用したハンズオンを通じて、IGにて推奨されている2つの手技の習得を目指すセミナーです。ぜひご参加いただき、明日からの臨床にお役立ていただくと幸いです。

■ 講師



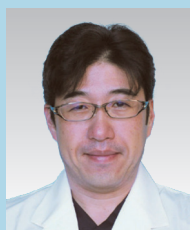
中野 敢友 先生

広島市立広島市民病院
外科



山本 海介 先生

四谷メディカルキューブ
腹部ヘルニアセンター



吉岡 慎一 先生

八尾市立病院
外科

※五十音順